



ハタチの彼女に学ぶ

自分が二十歳のころといたら何をしていたら。どんなことを考えていたら。大学に一浪して入ったから大学1年生。バイトに明け暮れ、夜遅くまで飲み歩き、仲間とバカ騒ぎすることが一番楽しかったころかもしれない。

私の二十歳のころとはどうい比べものにならないような、「ハタチの彼女」は、「みんなが彼女を応援したことを知っています。こんな終わり方ですいません。試合を見てくれてありがとう。本当にありがとう」とあの舞台上で言った。

そう、ご存じの通り先日全米オープンで優勝したテニスの大坂なおみ選手である。対戦相手は元世界女王セリーナ・ウィリアムズ(米国)。セリーナの優勝、それだけを見るために会場に来た観客の大ブーイングを感動に変えた。そして、「セリーナと全米決勝で対戦する夢が叶いました。プレーしてくれてありがとう。」という言葉で締めくくりトロフィーを持ち上げた。(詳細については皆様ご存じのことと思われるので割愛させていただきます。)

日本人からすれば、いかにも日本人らしい謙虚な態度が表れており、この言葉で彼女のファンになった人間は世界にどれくらいいるだろう。何とも世界に誇れる日本の「ハタチの彼女」だ。

以前、金田一晴彦氏(言語学者・国語学者)の「美しい日本語」という本を読んだときに、こんなエピソードがあった。

レストランでウェイター(ウェイトレス)のアルバイトをしていたとする。不注意で皿を割ってしまった。

この場合、通常日本人なら、

「すみません。皿を割ってしまいました。」

という。しかし、英語圏ではあまりこの言い方を聞かない。

「The dish was broken」(皿が割れちゃいました。)



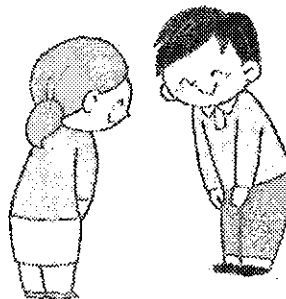
これが通常の言い方だという。自分がわざと割ったのではないということを暗に意識した表現が習慣化されている。(記憶に頼っているので原文通りではありません。)

諸外国の文化に詳しい大学の先生にそのことを尋ねると、

「アメリカなんかは、『訴えてやる』の文化ですからね。交通事故を起こしても『すみません。』という言葉ほとんど聞かないんですよ。」

と教えていただいた。「なるほど」と納得できるような感じがした。

また、同じくこの著書「美しい日本語」の中にはこんなエピソードもあった。



日本ではよく「おかげさまで。」という言葉を使う。しかし、外国人にこの言葉を使うと、「えっ、誰のおかげなの？」と聞かれる。物事を推し量るとか自分が今あること自体に感謝するという文化は日本独特のようである。

(これも記憶に頼っているので原文通りではありません。)

前に挙げた大坂なおみ選手の言葉はいかにも日本人らしい謙虚さがよく表れている。日本人の母とハイチ出身の父(ハイチ系アメリカ人)の間に生まれ、3歳からアメリカに移り住んだ彼女が、である。まあ、日本人の私から見れば、母親譲りの謙虚さが息づいていたと考えたいような気もする。

この謙虚さといっしょに驚かされるのは、この大舞台の大ブーイングの中でよくこの言葉が出てきたものだということだ。半世紀以上生きている私も出てこないだろう。(だいたい、引き合いに出すのが間違っている。)そういう目で見ると、彼女の素直な表現力にも驚かされる。もはや、「日本人らしさ」ではなく、「国際人らしさ」と言えるかもしれない。(私は「日本人らしさをベースとした国際人」と言いたい。)

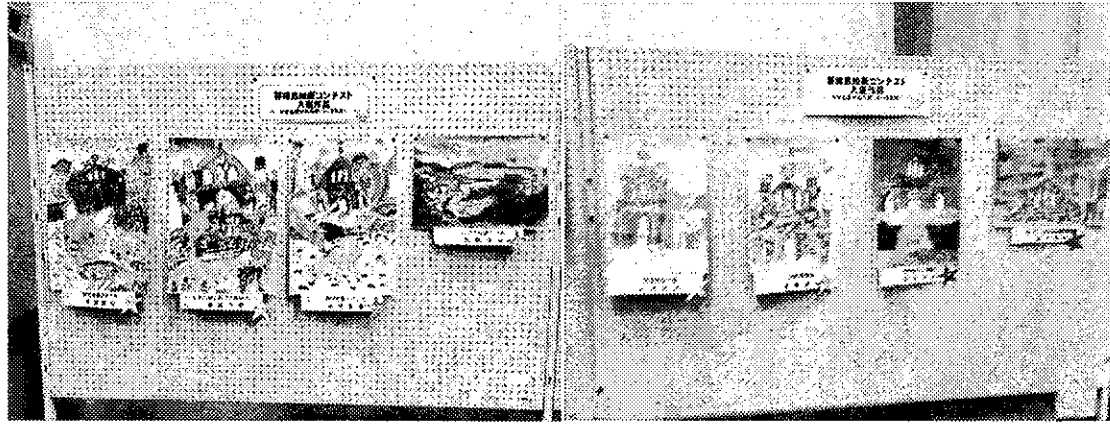
さて、今の子どもたちの中に、

「割ってしまいました。」文化や「おかげさまで。」の謙虚な文化は、引き継がれているのであろうか。また、素直な心を伝える表現力は根付いているのであろうか。私たち大人は、引継ぎ、根付かせようとしているのであろうか。「ハタチの彼女」に学びたい。

表彰いろいろ

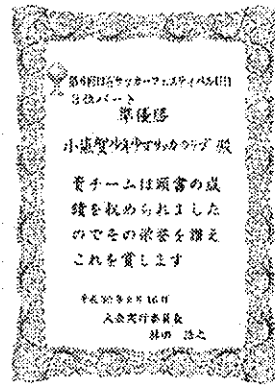
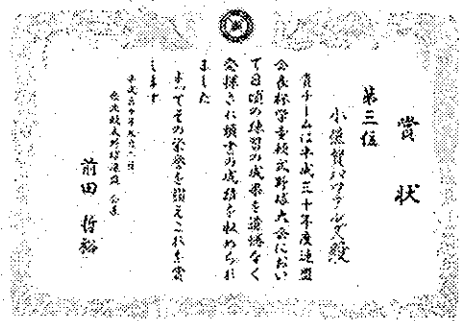
子どもたちが、夏休みに取り組んだ作品等に関わり表彰を行いました。

まずは、世界遺産登録記念に募集があった野崎島絵画コンテスト



ご存じのように9月8日の記念式典で表彰された分を学校でも表彰しました。グランプリと準グランプリの作品は、記念切手になるそうです。

部	低学年(1～3年)の部	高学年(4～6年)の部
グランプリ	濱田 舞桜	北村 和月
準グランプリ	濱田 乃愛	宮崎 真之
入賞	小崎 愛音	高橋 徳臣
	松尾 廣栄	田中 海音



小値賀パワフルサモ 小値賀少年少女 サッカークラブ

サッカー部は口石サッカーフェスティバルU11、3位パートで準優勝。

パワフルズは、連盟会長杯学童軟式野球大会で3位です。これも、学校で表彰をしました。パワフルズは今週末、諫早市飯盛グラウンドで県大会。リングリーグ方式の予選を勝ち上がれば、決勝トーナメントです。思いっきり投げて、打ってきて欲しいと思っています。

ご案内

文化的な催し物のご案内です。保護者・地域の皆様、ふるってご参加ください。

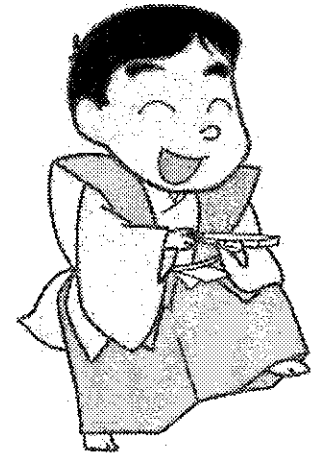
「大蔵流山本会 青少年狂言鑑賞会」

大蔵流「山本会」は、江戸時代から続く狂言方の家です。当日は2演目。子どもたちの体験コーナーも予定されています。

日時 10月1日(月) 9:40～11:00

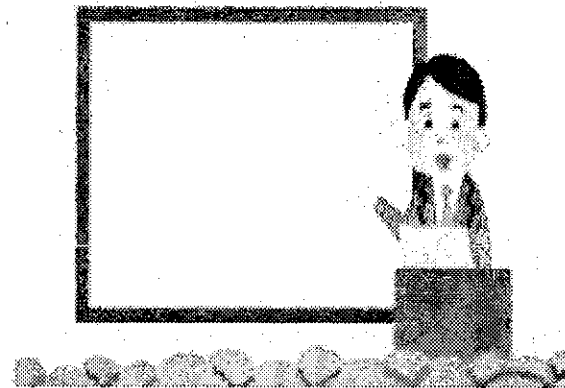
場所 小値賀小学校 体育館

こちらは事前申し込み等不要です。



教育講演会

教頭として平成9・10年、小値賀小学校で勤務され、その後、佐世保教育事務所、県教育委員会にお勤めになり、平成28年3月県教育次長で退任された、池田浩先生をお招きして、教育講演会を開催いたします。



講師 現長崎大学 地域教育総合支援センター
副センター長・社会教育支援部門長 池田 浩 氏

演題 よってたかって(仮)

日時 11月22日(木) 15:00～16:30

場所 小値賀小中学校 多目的ホール

こちらに参加ご希望の方は、小値賀小教頭・香田(56-3141)までお電話ください。